

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

H27.8.10 平均点修正版

判定の種類とその内容及び点数

内容	判定	点数
取組が特に優れており、模範となり得る	A	3
現状の取組みが十分であり、継続が妥当である	B	2
現状の取組みに改善が必要である	C	1

平均値による判定基準	
$2.5 \leq X \leq 3.0$	A
$1.5 \leq X \leq 2.4$	B
$1.0 \leq X \leq 1.4$	C

判定の集計方法

- 各委員の判定(A～C)を点数化(上表)します。
- 10名の委員の点数を合計し、平均値をとります。
- 平均値(右上表)により、判定(A～C)を決定します。

1. みえ森と緑の県民税基金積立事業

評価の視点	平均点	判定
有効性	1.90	B
効率性	1.80	B
公益性(波及度)	1.90	B

2. 災害緩衝林整備事業

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.30	B
効率性	2.30	B
公益性(波及度)	2.30	B

3. 土砂・流木緊急除去事業

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.20	B
効率性	2.20	B
公益性(波及度)	2.30	B

4. 森を育む人づくりサポート体制整備事業

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.20	B
効率性	1.90	B
公益性(波及度)	2.00	B

5. みえ森と緑の県民税市町交付金事業

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.10	B
効率性	2.00	B
公益性(波及度)	2.00	B

5. 対策1 土砂や流木を出さない森林づくり

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.30	B
効率性	1.95	B
公益性(波及度)	2.25	B

5. 対策2 暮らしに身近な森林づくり

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.37	B
効率性	2.17	B
公益性(波及度)	2.17	B

5. 対策3 森を育む人づくり

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.38	B
効率性	2.27	B
公益性(波及度)	2.25	B

5. 対策4 木の薫る空間づくり

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.34	B
効率性	2.16	B
公益性(波及度)	2.19	B

5. 対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.28	B
効率性	2.10	B
公益性(波及度)	2.08	B

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

判定の種類とその内容及び点数

内 容	判定	点数
取組が特に優れており、模範となり得る	A	3
現状の取組みが十分であり、継続が妥当である	B	2
現状の取組みに改善が必要である	C	1

平均値による判定基準	
$2.5 \leq X \leq 3.0$	A
$1.5 \leq X \leq 2.4$	B
$1.0 \leq X \leq 1.4$	C

判定の集計方法

1. 各委員の判定(A～C)を点数化(上表)します。
2. 10名の委員の点数を合計し、平均値をとります。
3. 平均値(右上表)により、判定(A～C)を決定します。

6. 制度運営事業(評価委員会設置・運営等)

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.20	B
効率性	2.00	B
公益性(波及度)	2.30	B

7. 制度運営事業(賦課調査事務事業)

評価の視点	平均点	判定
有効性	2.30	B
効率性	2.20	B
公益性(波及度)	2.40	B

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表（意見抜粋）

5. 対策2 暮らしに身近な森林づくり

県担当課 市町名	委員からの主なご意見
三重県 みどり共生 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ★道路沿いの危険木管理の必要性は認められる(大台、ほつとする道ばた) ★人家裏や通学路の危険木除去は必要(大紀、生活環境林) ★防風林保護や景観保持は重要(鈴鹿、暮らしを守る) ★松枯れ対策の必要性を認める(志摩、里海・里山保全) ★自治会等による実施という点が評価できる(伊賀、みんなの里山整備) ★住民ができることから地域課題に取り組むことに対する支援であり、評価する(紀北、集落周辺森林) ★活動継続に際し、安全対策が取られるよう指導されたい(亀山、里山・竹林生活環境保全) ★児童の学校林への関心を高める意義も高い(御浜、学校林整備) ★雇用を行うといったやり方は効率的とはいえない(桑名、多度山環境) ★県民に理解される方策やルール、仕組みを検討して実施されたい(菰野、危険木伐採) ★面積、傾斜の割に、作業条件は理解するが高額(松阪、里山、鳥羽、暮らしに身近な森林、南伊勢、竹林伐採) ★高額な事業であり、無駄がないか検証が必要である(四日市、水沢もみじ谷)

5. 対策3 森を育む人づくり

県担当課 市町名	委員からの主なご意見
三重県 みどり共生 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ★学校の木質化と合わせ木育を実施していることは評価できる(松阪、森林環境学習) ★ソフトとハードの両面からの働きかけは効果的である(尾鷲、木とふれあう学校) ★森林が有する多面的機能をバランスよく盛り込んでいると思われる(伊賀、伊賀の森っこ ほか) ★将来の消費者になる子どもが森林の働きや木材利用の意義を理解することは重要である(尾鷲、尾鷲ヒノキ植樹) ★木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる(大紀、木材利用促進 ほか) ★子どもの頃から無垢の木製品にふれるのは、意義深い取組(伊賀、ウッドスタート、名張、木に親しむ木製遊具) ★森林に対する理解を促すような働きかけが無ければ波及効果は乏しい (朝日、児童館、名張、木に親しむ木製遊具) ★学習のきっかけから実行へつながることが望まれる(多気、県産材を活用した学校机・イス、明和、学校木製備品) ★森林のない町がその源流部を訪れることは理解できるが、体験活動のすべてを税対象としなくてもいいのではないか (木曾岬、森林環境教育) ★アンケートを行って有効性を見ている点が評価できる(松阪、森林環境学習、亀山、森と木材のふれあい ほか) ★アンケート結果による反省点や改善点などの記載があるとよい(亀山、森と木材のふれあい) ★保護者や児童の感想など定性的な評価があるとよい(大紀、木材利用促進) ★親子の感想や参加の動機などを知りたい。次年度への改善などの記載があるとよい(津、「森と緑の市民塾」)

5. 対策4 木の薫る空間づくり

県担当課 市町名	委員からの主なご意見
三重県 みどり共生 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ★公共施設の木材利用は評価できる(松阪、都市公園、鳥羽、農水産物直売所 ほか) ★建物全体の木質化は意義がある(紀宝、公共施設木造化) ★毎日にぎわっており、波及度は高そうである(紀北、紀勢自動車道地域振興施設) ★市産材を利用しただけでは、森林保全への関心が高まるとは思えない(松阪、都市公園、伊勢、公園整備 ほか) ★木育による波及効果に期待したい(南伊勢、統合保育所) ★来所者、児童に森の役割などを伝える教育も併せて行って欲しい(鳥羽、農水産物直売所、御浜、学校施設) ★住宅建築促進と木材利用促進の二重の意義がある(津、木材利用促進、熊野、木造住宅建設) ★モデルハウスとして利用することが条件になっており、公益性が高いと考える(熊野、木造住宅建設) ★木材利用を戦略的に考えた素晴らしい取組(熊野、木造住宅建設) ★公益性の担保や評価方法の工夫が必要(津、木材利用促進) ★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる(津、木質バイオマス、名張、木質バイオマス)

5. 対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

県担当課 市町名	委員からの主なご意見
三重県 みどり共生 推進課	<ul style="list-style-type: none"> ★園児にとって有意義と考える(朝日、公共施設の緑化、川越、公共施設の緑化) ★地球温暖化対策としては有意義である(度会、宮リバー度会パーク) ★事業としての芝生化は納得しがたい(朝日、公共施設の緑化、川越、公共施設の緑化、度会、宮リバー度会パーク) ★波及度を高めるために、園児、公園利用者に緑の役割などを伝える啓発も併せて行って欲しい (朝日、公共施設の緑化、川越、公共施設の緑化、度会、宮リバー度会パーク、名張、森林公園等環境活用) ★住民主体の取組への支援は評価できる(名張、森林公園等環境活用) ★緑化への意識向上という取組はユニーク。中小企業への拡大を期待する(亀山、緑あふれるまちづくり) ★工場敷地内の緑化は、各事業者がその責務で行うべきであり、税活用は必ずしも効率的ではない(同上) ★税事業であるPRがなければ、単なる企業の環境活動としてしかとらえられない(同上) ★植樹だけでなく、森と人とのかわりについて気づくための活動にシフトすべき(同上)

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

1. みえ森と緑の県民税基金積立事業

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 みどり共生 推進課	みえ森と緑の 県民税基金 積立事業	有効性	B	1.90	★特に、市町の実施する事業において、安易な事業実施とならないよう、事業の必要性は十分に検討して欲しい。★税の導入に当たり出てきた多くの意見に配慮するあまり、本来の目的がぼやけた感はぬぐえない。★緊急性の高さを判断する基準が明確でないように思われる。★県と市町の役割を明確にし、実施したことによる効果を県民にPRしていただくことよ。本事業の全体像に向けてのシナリオが伝わりにくい。★三重県の森林管理の基本方針を再検討し、税の使途も再検討したほうがいいのではないかと。★県と市町の連携により、きめ細かな事業実施が図られたことを評価する。
		効率性	B	1.80	★一部に改善が必要な事業が認められる。特に市町の実施する事業において、有効性、効率性、公益性が吟味されたとは思えない事業が目立つ。引き続き事業の効率的な実施に努めてほしい。★従来事業との仕分けと単価面での再検討が必要。★災害対策には十分に使って欲しい。
		公益性 (波及度)	B	1.90	★概ね公益性の高い事業が行われたと評価する。★税や事業について森林・林業関係者以外には知らないという方が多く、まだまだ認知度は低い。広報の方法も再検討すべき。★費用対効果の見える化にチャレンジしてほしい。また、市町やNPOなどと意見交換できる場があるとよい。★災害に備えての積立も県民には十分理解してもらえらると思うので、無理に使い道を探すのなら積み立てたほうがよい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

2. 災害に強い森林づくり推進事業のうち、災害緩衝林整備事業

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 治山林道 課	災害緩衝林 整備事業	有効性	B	2.30	・特にモニタリングの体制を整えられつつある点を評価する。 ・整備後の変化と効果を県民に分かりやすく可視化することにチャレンジしてください。視察ツアーとか県民が当事者意識を育むような機会があるとよいのではないのでしょうか。 ・近年の天候不順による災害対策は急務である。 ・流木対策は治山だけでなく、下流域の安全確保にも効果的な取り組みである。 ・この事業は目的がはっきりとしており理解しやすい。
		効率性	B	2.30	・優先順位をつけた点は評価できる。 ・全体としては事業額及び量は適切と感じるが、詳細な積算根拠、現地の確認をしないと判断しづらい。
		公益性 (波及度)	B	2.30	・必要なことを実施しているので、費用対効果と効果の可視化をいかにするかが重要です。下流住民へのヒアリングや報告会、住民と住民をつなぐ企画があるとよいですね。 ・流木やその危険度の高い森林の整備が進むことでその下流の安全は高まり公益性は高いものと考えます。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

3. 災害に強い森林づくり推進事業のうち、土砂・流木緊急除去事業

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 治山林道 課	土砂・流木緊急 除去事業	有効性	B	2.20	・予算額に対して決算額がかなり少なく、目標としていた8箇所に達していない。 ・整備後の変化と効果を県民に分かりやすく可視化することにチャレンジしてください。視察ツアーとか県民が当事者意識を育むような機会があるとよいのではないのでしょうか。 ・2と同様災害対策は重点的に実施して欲しい。 ・この事業は目的がはっきりとしており理解しやすい。
		効率性	B	2.20	・全体としては事業額及び量は適切と感じるが、詳細な積算根拠、現地の確認をしないと判断しづらい。
		公益性 (波及度)	B	2.30	・必要なことを実施しているので、費用対効果と効果の可視化をいかにするかが重要です。下流住民へのヒアリングや報告会、住民と住民をつなぐ企画があるとよいですね。 ・治山、住民の安全確保の重要性 ・治山施設の土砂や流木はこれまであまり処理されておらず、最近の豪雨で流れ出す事案もあったことからこの事業による公益性は高いものと考えます。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

4. 森を育む人づくりサポート体制整備事業

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 みどり共生 推進課	森を育む人づく りサポート体制 整備事業	有効性	B	2.20	★事業のPRを充実させること。★上級者向け講座の全回参加者がほとんどいないため、有効性に乏しい。★さまざまな立場で森林環境教育に関わる人材を育てようという点は評価できる。★「森のせんせい」を継続して育成していくことが望まれる。★指導者育成は大切なことであり、積極的に人材育成を図るべきである。★「森のせんせい」は学校での出前授業にとどまることなく、地域の森づくりのコーディネートや学校への森林環境教育のアドバイスや提案が行える人材を育成する必要がある。
		効率性	B	1.90	★森林インストラクター養成講座については、段階を追ってスキルアップしていけるような工夫が求められる。★養成講座については、受講者数も少なく、協会発行のテキストもあるので、税事業として開催する必要はない。★上級者と初心者と共に学ぶ体制はよい。森林インストラクター養成講座は、もう少しコンパクト化を図る必要がある。★体系的な指導者育成は評価できるが、研修後の指導者のフォローアップ、活動できる基盤作りを進めるべきである。★養成講座は興味があっても14回は負担が大きい。分野ごとに開催してはどうか。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★地域の方々に事業のPRを行うこと。★「森のせんせい」の活動が広まってきたことは評価できる。★事業が継続され、積極的な活動が行われることを望む。★副読本の有効活用についてチェックを行うこと。また、学校と密接に連携して事業を進めること。★地域で活動できる仕組みづくりが必要。生涯学習センターや公民館など、多様な展開を図ってほしい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表
5. みえ森と緑の県民税市町交付金事業

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 みどり共生 推進課	みえ森と緑の 県民税市町 交付金事業	有効性	B	2.10	★市町において有効性等が吟味されたとは思えない事業がある。★市町が創意工夫できるように助言されたい(住民との共同による事業展開の方法など)。★無理に用途を探すのではなく、真に必要な事業を実施できるように猶予期間があってもよい。
		効率性	B	2.00	★箇所ごとの事業費が少なく、事業実施が困難な場合がある。交付金があるからといって、無理に事業実施しているケースがあるように思う。★地域活動支援等は住民の意欲を引き出すことに繋がっているが、業者への発注の金額には疑義があるものもある。また、直接雇用を当該税で行うことが適切とは考えにくい。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★納税者が「有効に使われた」と実感できる取組を継続されたい。★(周知に対して)動きのない市町が気になる。★各市町でそれなりに看板や広報誌掲載などがされているが、認知度は高くない。★周知の結果、どの程度伝わっているのか。自慢大会などにより住民を巻き込む工夫をしてはどうか。★単年度に使い切ることに重点を置かず、地域に応じた事業計画を十分に立てられたい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表
5. 対策1 土砂や流木を出さない森林づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 志摩市	里山関連整 備事業	有効性	B	2.30	★ダム の維持には有効だと考える 。★三重県南部は風水害も多く、津波被害も予想されるので、そのために必要な工事は手厚く実施されるべきである。
		効率性	B	1.90	★設計単価は適正かどうか疑問である。★面積に対し非常に高価と思われる。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★多くの市民の利益が守られたことは評価したい。★受益者数も多く、公益度は高いと考える。★直接的な効果だけでなく、間接的に市全体の水道事業等に効果が及ぶことも尺度としたらどうか。★この事業から森林の課題は暮らしの課題につながることをうまく伝えてほしい。
2 大紀町	溪流倒木等 処理事業	有効性	B	2.30	★流木対策としては有効だと考える。★三重県南部は風水害も多く、津波被害も予想されるので、そのために必要な工事は手厚く実施されるべきである。
		効率性	B	2.00	★設計単価は適正かどうか疑問である。★面積に対し非常に高価と思われる。★委託先としては適切だと考える。★もう少し具体的に効率的に行えたことがわかれば、なおよかった。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★費用に対して受益者数が少ないことが気になる。★事業結果が公表されているとのことだったが、町のホームページですぐにアクセスできるような場所には掲載されていなかった。わかりやすく周知することが必要。★安全性が拡大したことをうまく住民に伝えてほしい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策2 暮らしに身近な森林づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 四日市市	水沢もみじ谷 景観整備事業	有効性	B	2.40	★地域住民が通常の作業では解決できない課題への対策であり、景観と安全保持のために有効である。★整備計画の全体像が見えず、評価は難しい。
		効率性	B	2.20	★高額な事業であり、無駄がないか検証が必要である。★経費が適正か疑問。★2ヶ年事業であり、実施後でないと評価は難しい。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★事業実施後に看板を設置されたい。★受益者(2万人)への広報がされているかが不明。★地域財産の価値を高める活動は評価する。県民、市民にPRされたい。★「もみじ祭り」来場者への広報活動が重要である。
2 桑名市	多度山環境 整備事業	有効性	B	2.00	★住民が愛着を持ち散策などに訪れているのか不明。★桑名市民全体にとって多度山の価値が向上するような事業効果になるとよい。★里山整備により生活環境の向上につながったことは読み取れない。
		効率性	B	1.70	★雇用を行うといったやり方は効率的とはいえない。★費用対効果という面からすると非効率な感じは否めない。★里山は継続的な管理が必要。そのために住民の協力が不可欠。★単価が高い。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★桑名市民全体が整備によるメリットを共有できる仕掛けが必要と思われる。★将来的には住民参加の施策も視野に入れられたい。★看板や広報が不足している。★どのように100戸の生活環境が改善したのか説明不足。
3 亀山市	里山・竹林生 活環境保全 支援事業	有効性	A	2.60	★住民参加の場面などをどの程度つくれるかも、税への理解を得るために重要。★住民参加型で非常によい。★住民主体の活動を支援する取り組みは評価できる。★森林保全団体の増加、育成に繋がっている。継続的な取り組みへの展望が開けている。
		効率性	A	2.60	★継続的な取り組みは必要なこと。★地域に根差した取り組みは有意義である。★行政の役割と協働のうえで、住民が地域の里山は地域で保全するという思いと力を持つとよい。★住民の意識向上に繋がっており、評価できる。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★周知も同時進行されたい。★活動継続に際し、安全対策が取られるよう指導されたい。★今後の森林環境教育への活用に期待する。
4 東員町	みえ森と緑の 県民税市町 交付金事業	有効性	B	2.10	★調査のみで有効性が見えにくい。★危険木の調査には必要性を認める。★調査のみで約300万円も必要なのか疑問。
		効率性	B	2.10	★調査のみにしては高額に感じる。この額の必要性が不明。★はみ出し、枯れは目視で判断できると思う。
		公益性 (波及度)	B	1.70	★事業を確実に実施されたい。★実施後でないと公益性を判断しにくい。★交付金だからといって無駄にしているか疑問。★住民が参加できる機会等がつけられるとよい。★広報をされたい。
5 松阪市	里山の森林安 全安心対策 事業	有効性	B	2.20	★搬出なし、勾配も緩く見えることから、高額に感じる。★実施箇所の選定理由が不明確。★地域との連携により事業が展開され、住民が里山の価値を見直すきっかけになったことを評価する。
		効率性	B	2.00	★事業費の妥当性に疑義が残る。★面積の割に高額だが、森林や周囲の環境を加味し、十分な体制、方策、対応をとられたい。★自主防災組織との協働を評価する。★緊急性の高さを市と住民のどちらが判断したのか疑問。
		公益性 (波及度)	B	1.90	★住宅に加え、学校の安全が高まったことは評価できる。★事業の成果を(受益している)小学校での森林環境教育に役立てられたい。
6 鳥羽市	暮らしに身近 な森林整備事 業	有効性	B	2.10	★整備された緩衝林(竹林)の今後の維持管理が疎かになることを懸念する。★地域と連携して継続的に保全することが望ましい。★実施箇所の選定理由が不明確。★鳥獣害がどの程度減少したか、数値があるとよい。
		効率性	B	2.20	★緩傾斜の割に高額に感じる。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★受益戸数が少なく感じる。★生活環境の向上について、受益者を対象にアンケートしてはどうか。
7 南伊勢町	竹林伐採整 備事業	有効性	B	2.10	★竹林整備の必要性は理解するが、選定理由が不明確。★放置竹林は無制限に拡大するので、整備は急務である。
		効率性	B	1.90	★費用をもう少し削減できるとよい。★(手間がかかる)作業条件は理解するが、それでも高額な印象を受ける。★鳥獣害軽減の目標値があると有効性がわかりやすい。
		公益性 (波及度)	B	1.80	★同時進行で周知されたい。★今後のケアを十分にされたい。★費用対効果が見えにくい。税金を投入した価値が伝わる広報をされたい。★整備した効果がわかりにくい。また、伐採跡地の利用方法が気になる。
8 伊賀市	みんなの里山 整備活動推 進事業	有効性	B	2.30	★自治会等による実施という点が評価できる。★整備の必要性は理解するが、実施箇所の選定理由が不明確。★住民の里山への愛着を育む住民参加の活動は高く評価する。
		効率性	B	2.10	★継続ためには住民の参加が不可欠である。★住民の活動支援であり、継続実施に期待できる点が評価できる。★どの程度の資金提供か、なにができるようになったかを明らかにすると、新規団体への参考になる。
		公益性 (波及度)	A	2.50	★継続的な取り組みの可能性が見えたことを評価する。★実施箇所の選定や伐採跡地の利用についても検証が必要と考える。★参加団体が増えるように積極的にPRされたい。★ボランティア活動を支援することで地域づくりに繋がる。
9 紀北町	集落周辺森 林(里山)整備 事業	有効性	A	2.70	★住民ができることから地域課題に取り組むことに対する支援であり、評価する。★災害時の避難場所としては機能が高まった。★住民主体という点を評価する。★避難路の安全確保、住民の活動支援という点を評価する。
		効率性	A	2.50	★受益者自らが整備することで費用を最小限に抑えていることは高く評価する。★継続施策のためにチェーンソーなどの機材の補助も対象としてはどうか。★高齢化が進む地域で、住民依存の活動がいつまで続くか心配。★事業詳細が分かりにくいが少額で行われている。
		公益性 (波及度)	A	2.50	★この活動をいかに町に広げていくかが重要。継続されたい。★ボランティア活動に補助することで地域づくりに繋がる。★金額に対して受益者が多く、評価できる。
10 御浜町	御浜町竹林 整備事業	有効性	B	2.40	★整備が一過性のものに終わることを危惧する。★住民の声が報告されており、住民にとって価値の高い活動であったことがわかる。★人が出入りして筍の収穫などができるようになれば獣害も減らすことができる。★獣害が減少したことを評価する。
		効率性	B	2.30	★住民活動を支援する形で実施されるとよかった。
		公益性 (波及度)	B	1.90	★看板など事業実施と同時に周知されたい。★竹林は毎年の整備が不可欠。住民参加による現状維持の機会等を設けられるとよい。★受益者戸数が少ないと感じられる。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策2 暮らしに身近な森林づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
11 亀山市	安全な通学路 整備事業	有効性	A	2.70	★地域評価の記載があり、地域に理解されているとわかる。★通学路の安全確保は評価できる。★事件・事故防止のためにも通学路の整備は必要である。★以前から要望のあった箇所での実施は有効性が高い。
		効率性	B	2.20	★今後も効率的な実行に努められたい。★より効率的な方法をとられたい。★反省点を記述している点は、今後の改善に向けて有効である。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★子どもを含め住民が現状維持の方法を検討する場があるとよい。市内に拡大されたい。★自治会の活動につながることで、地域で管理できる。★税の有効利用のためにも「できることは自分たちで」という意識づけは評価できる。★過度の負担とならないよう図られたい。
12 菰野町	危険伐採木 搬出事業	有効性	B	2.30	★課題はあるが、県民に理解される方策やルール、仕組みを検討して実施されたい。★菰野町は度々大雨による危険に見舞われるので、伐採木の搬出は意義がある。
		効率性	B	2.10	★事業費に対する交付金の充当率も低く、必要性の高い事業であったと推察する。★既存事業の巻き替えとの懸念が残る。★間伐補助(他事業)の補助金が増加している。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★課題はあるが、県民に理解される方策やルール、仕組みを検討して実施されたい。★必要性はあるが、公益性の点で少し問題を感じる。★(現状の方法は)モラルハザード(間伐補助の上乗せ)を引き起こす可能性があり、懸念する。
13 大台町	ほっとする道ば た森林整備事 業	有効性	B	2.30	★道路沿いの危険木管理の必要性は認められる。★住民からの具体的な評価の記述があればよかった。
		効率性	B	1.90	★今後も効率的な実行に努められたい。★写真で見るとは難しい地形に思えない。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★周知が不足している。★住民だけでなく、来町者にも受益がある。★道路の通行量も少なくなく、ある程度の公益性は認められる。★地域性苗木の植栽を評価する。住民参加があればなおよかった。
14 大紀町	生活環境林 整備事業	有効性	B	2.40	★人家裏や通学路の危険木除去は必要。★住民の声が記述されるとよい。
		効率性	B	2.20	★(箇所により)大小あると思うが、事業費も妥当と感じる。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★もっと広報をされたい。★住民も多く、公益性も高いと感じる。★受益者数の正確性に疑問を感じる。★住民の評価が記述されるとよい。★ホームページへの掲載のみで広く周知できるのか疑問を感じる。
15 紀北町	人家裏等危 険木伐採事 業	有効性	A	2.50	★人家裏に迫った危険木の除去は急務であり、必要性は理解できる。★自治会主導により課題を解決しようとした点を評価する。
		効率性	B	2.30	★小面積の割に高額なのは特殊機材を使用したためと思われるが、積算根拠が不明。
		公益性 (波及度)	A	2.50	★住宅真裏のため、戸数が少ないが、公益性を認める。★行政、森林組合、住民が協働して取り組んだ事例として評価する。さらに広がりを見せるとよい。
16 鈴鹿市	暮らしを守る 森林保全事 業	有効性	B	2.40	★防風林保護や景観保持は重要。★松枯れ対策の必要性を認める。
		効率性	B	2.00	★事業費と交付金の割合が妥当か疑問。★事業費の妥当性に疑問を感じる。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★山林を中心に考えがちなかで海岸林を対象としたことは有効である。★海岸林には多様な機能があり、公益性は高い。★次世代の海岸づくりに繋がらねたい。★住民参加の機会等があると当事者意識が醸成され、地域の維持管理体制がつけられるのではないかと。
17 菰野町	病虫被害木 伐採搬出事 業	有効性	B	2.30	★問題意識と実施体制の詳細が記述されるとよかった。★事業費に対する交付金の充当率も低く、必要性の高い事業であったと推察する。★ナラ枯れ対策の必要性を認める。
		効率性	B	2.20	★住民が主役である点は評価する。★住民参加型で非常に良い。★本数当たりの単価が高額に感じる。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★事業に携わった住民と、暮らしている住民の評価が記述されるとよかった。
18 鳥羽市	暮らしに身近 な松林防除管 理事業	有効性	A	2.50	★住民の期待に応える事業であり、評価するが、住民参加の機会がつけられるとよい。★枯れ枝落下や倒木などの対策は必要である。★松枯れ対策の必要性を認める。
		効率性	B	2.40	★地域の業者により少額で実行されたことは評価できる。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★税事業であることを周知されたい。★神社の境内林であれば、公益性の面で疑問が残る。★海岸林には多様な機能があり、公益性は高い。
19 志摩市	里海・里山保 全事業	有効性	B	2.40	★被害が軽減されており、有効である。★松枯れ対策の必要性を認める。
		効率性	B	2.30	★注入本数が多く、違和感を感じない。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★当事業の財源(税)を周知されたい。★観光資源としても景観保持は必要である。
20 大台町	水道水源林の 公有林化事 業	有効性	B	2.10	★今後の整備のためにも必要である。★交付金全てが使われていることが有効なのか疑問。★公有林化は十分な議論が必要ではないか。★公有林化は一つの方法ではあるが、行政の負担は大きくなる。天然林の管理利用を実行することはなかなか難しい。
		効率性	B	2.00	★金額が妥当か判断する資料がない。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★水源林の保全は極めて重要であり公益性も高く、民間にゆだねておけない場合の公有林化は望ましい。★水源林の重要性を伝えるための事例であり、どのように県民に周知するかが重要である。★税事業である広報をされたい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策2 暮らしに身近な森林づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
21 御浜町	学校林整備 事業	有効性	A	2.80	★学校林があるのは素晴らしいこと。さらに子どもが遊べるよう整備したのは森林環境教育の面からも有意義である。★児童の学校林への関心を高める意義も高い。
		効率性	B	2.30	★金額と面積に違和感を感じない。
		公益性 (波及度)	A	2.50	★森林環境教育の場として、継続的に活用されたい。★今後、児童が森林整備を体験する機会を作られたい。★今後の森林環境教育への活用を期待する。★この事例を広く県民、市町に情報提供されたい。
22 四日市市	治山森林関 係事業	有効性	A	2.50	★地域団体のニーズに対応している。協働により竹林整備を展開されたい。★貸出件数が少ないことが気になる。★竹林整備がさらに進むことになりよかった。★住民活動の支援として有効な方策である。
		効率性	B	2.20	★金額は妥当である。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★今後も積極的なPRにより効率的に活用されたい。★税事業であることを明記されたい。★住民等主体の取り組みの継続が期待できる事業として波及度が高い。★有効な事例としてPRされたい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策3 森を育む人づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 木曾岬町	森林環境教育事業	有効性	B	2.00	★森林のない町がその源流部を訪れることは理解できる。 ★森林が抱える課題を認識する学習の実施も必要。★体験活動の全てを税対象としなくていいのではないかな。
		効率性	B	2.00	★キャンプファイヤーやカヌーを税対象とするには疑問がある。★レクチャーや学びを深めるプログラムがないなど内容に少し改善の余地があった。★県内でも宮川上流域等で実施できたのでは。
		公益性 (波及度)	B	1.90	★県外に出かけての事業であるが町の立地を考えれば、妥当な取組と考える。★森林環境教育は、一度きりでなく繰り返しが必要★子どもにとっての楽しさが即、森林環境教育に繋がるとは考えにくい。★今後は、三重の森林に触れる体験・学習の場としてほしい。
2 松阪市	森林環境学習事業	有効性	A	2.80	★学校の木質化と合わせ木育を実施していることは評価できる★木の良さを知り森林に対する興味や意識が深まる。 ★ソフトとハードの両面からの働きかけは効果的である。★アンケート調査を行って有効性を見ている点かが評価できる。 ★学校の教育方針に位置付けて、体系的継続的に地域と連携した授業カリキュラムに発展できることを期待する。
		効率性	B	2.20	★この資料からソフト面の内容がわかりづらい
		公益性 (波及度)	B	2.40	★将来の消費者であり、意志決定にもなる子どもが森林の働きや木材利用の意義を理解することは重要である。★市産材の利用は効果がある。★広報誌への掲載がない。★児童を通じて保護者や地域の人々に波及するような取組へ発展することを期待したい。
3 伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	有効性	B	2.40	★森林が有する多面的機能をバランスよく盛り込んでいると思われる。★児童がどのようなことを学んだのか、もう少し具体的な記述がほしい。★学校の教育方針に位置付けて、体系的継続的に地域と連携した授業カリキュラムに発展できることを期待する。★木に触れる体験を通じて森林や林業への関心を深めるので今後は実体験を増やして欲しい。
		効率性	B	2.20	★一部の学校のHPで活動内容が確認できたが、事業全体がわかる或いは学校別の取組が分かるとなるとよい。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★税事業である周知が必要。★児童生徒から保護者や地域の人々に波及するような取組へと発展することを期待したい。★将来の消費者であり、意志決定者にもなる子どもが森林の働きや木材利用の意義を理解することは重要である。
4 尾鷲市	尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾	有効性	A	2.50	★植樹と木材利用の両面を行っていることは評価できる。★学校の教育方針に位置付けて、体系的継続的に地域と連携した授業カリキュラムに発展できることを期待する。尾鷲ヒノキを地域教材にして、幼稚園、小中学校、社会教育などが連携した学習プログラムが世代をこえて引き継がれることを望む。★44人で1,100本の植樹はがんばったと思う。★地元材を使った机・椅子の導入と関連させた事業であり効果的である。
		効率性	B	2.20	★学校の近くに植樹場所があればなお良い。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★尾鷲ヒノキの産地に育ち、将来の消費者、意志決定者にもなる子どもが森林の働きや木材利用の意義を理解することは重要である。★学校には、継続的に関わってほしい。
5 紀北町	森林環境教育事業	有効性	B	2.30	★森林が有する多面的機能をバランスよく盛り込んでいる。★学校の教育方針に位置付けて、体系的継続的に地域と連携した授業カリキュラムに発展できることを期待する。幼稚園、小中学校、社会教育などが連携した学習プログラムがあるとよい。★木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる。
		効率性	B	2.40	★地域と学校が一体となった、素晴らしい取組で評価できるが、内容や生徒の感想を知りたい。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★学校には、継続的に関わってほしい。★小学生の感想や意見、提案などを地域に発信するなど、波及効果を高めてほしい。★尾鷲ヒノキの産地に育ち、将来の消費者、意志決定者にもなる子どもが森林の働きや木材利用の意義を理解することは重要である。
6 鈴鹿市	ヒノキのコースター・竹ポット作り体験事業	有効性	B	2.20	★一般の方に森や木に関心をもってもらう活動として評価できる。★アンケートをとって有効性を見ている点かが評価できる。★大きなイベントの中に組み込まれたため、目立たなかったのではないかな。また、対象や内容をもっと吟味する必要がある。★木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる。★木工体験を通じて森と人とのつながりを学ぶことができたことから、日常の行動に繋がるようなメッセージを届けてほしい。
		効率性	B	2.30	★集客数の多いイベントと同時開催することは効率的である。★参加者が想定より少なかったことを反省点としているところは評価できる。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★少ない費用で一定の波及度はあったと思われる。★参加者に対して税事業とわかる工夫を。★PR方法を工夫する。★参加者数を適度に向上させる工夫を期待する。★参加者が体験を通じて木の良さや森林の大切さを感じるだけでなく地域の森を育むために、「自分たちには何ができるか」を考える時間を設けたほうが良い。
7 亀山市	森と木材のふれあい事業	有効性	B	2.40	★アンケートを行って有効性を見ている点かが評価できる。★満足した点の内容が不明。また、学校に配布したDVDの使われ方や今回の成果をどのように活かしていくかが知りたい。★3日程度のコンパクトなプログラム設計が評価できる。◆木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる。
		効率性	B	2.30	★アンケート結果による反省点や改善点などの記載があるとよい。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★参加者の次への意欲が喚起されており、波及度の高い事業だったと考える。★アンケート結果による反省点や改善点などの記載があるとよい。★住民のモチベーションが高まり、地域の課題を住民が担おうという自治意識が育まれることを期待する。★DVDをいかに活用するかが課題。
8 津市	森林・木材利用促進フェア事業	有効性	B	2.40	★木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる。★映画に関連したタイムリーな事業で効果的である。★場を提供することでどのような変化や成果を生み出すことができたのか疑問である。
		効率性	B	2.20	★映画に関連し注目の高まる機会を捉えた展示は有効である。★長期間の事業によって多くの人々への影響力を与えることができた。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★映画に関連し多くの来場者が訪れたことは評価できる。★数値だけでなくアンケート等を実施し、来場者の感想、学び得たこと、日常に活かされるヒントがあったかなどを把握された方がよかった。★「WOOD JOB」人気での一過性に終わらないような取組が必要と思われる。
9 大紀町	木材利用促進・普及補助金	有効性	B	2.20	★木や土、道具に触れることで森林への関心も深まる。★森林組合と子どもたちの出会いの場であり、地域の産業と地域の資源である森林のありようを学習できる良い機会である。★木工に加えて森林環境教育もできるとなるとよい。
		効率性	B	2.20	★継続実施とともに、学校教育中での森林環境教育の実施も提案されると良い。★集客数の多いイベントと併催するのは効率的である。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★少ない金額で一定の波及度があったと思われる。★単なる木工教室では、その先の波及の可能性が弱いのではないかな。★税事業のPRが不明★保護者や児童の感想など定性的な評価があると良い。
10 多気町	県産材を活用した学校机・イス整備事業	有効性	B	2.30	★町内全小学校1年生への配備は、素晴らしい取組である。★他の市町の取組のように木製品の導入と合わせ森林環境教育を実施されたい。★学校に導入した点かがよかった。★学習のきっかけから実行へつながることが望まれる。★製品になるまでの森の成り立ちを学んでほしい。★木製品の利用意識が育まれる。
		効率性	B	2.30	★多様な森林環境学習にチャレンジしていただきたい。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★今後の具体的な学習内容の記述があると良い。他校や地域に展開する際の情報になる。★児童達を通じて保護者にも良い影響が及ぶような取組を期待したい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策3 森を育む人づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
11 明和町	学校木製備 品購入事業	有効性	B	2.20	★木製品の利用意識が育まれる。★町内全校1年生への配備は、素晴らしい取組である。★製品になるまでの森の成り立ちを学んでほしい。★森林環境教育の一環として書かれているが、児童への働きかけが見えない。★学校に導入した点がよかった。★学習のきっかけから実行へつながることが望まれる。 ★多様な森林環境学習にチャレンジしていただきたい。
		効率性	B	2.20	
		公益性 (波及度)	B	2.30	
12 尾鷲市	木とふれあう学 校環境づくり 事業	有効性	A	2.90	★組み立て作業を共同で行い導入したことと森林環境教育を行っている点は、有効である。★アンケートをとって、有効性を見ている点が評価できる。また、学校に導入した点が良い。★自分の机を親子で作ることの教育効果は高い。★ソフトとハードの両面からの働きかけは効果的である。★木に対する愛着が深まる。★どういう点が満足で楽しかったのかを把握したい。 ★児童による組み立ても良い。
		効率性	A	2.50	
		公益性 (波及度)	B	2.40	
13 朝日町	児童館への木 のおもちゃ配備	有効性	B	2.30	★子どもの頃から無垢の木製品にふれることは、意義深い取組である。★木製遊具の導入は良い。★理解が進んだとどのよう把握しているのか。木のおもちゃでの遊びを通じて、どのように森林の持つ不思議さや楽しさを伝えているのか。★木のおもちゃの配備が、森林に対しての理解に本当に結びつくのか、因果関係の説明が弱い。 ★金額の割に写真で見ると良さそうなおもちゃである。
		効率性	B	2.30	
		公益性 (波及度)	B	2.00	
14 伊賀市	伊賀市ウッドス タート事業	有効性	A	2.60	★子どもの頃から無垢の木製品にふれることは、意義深い取組である。★保護者への働きかけは効果的と考える。★木育×食育の発想が良い。★オリジナルプログラムを実施し、幼児期の感性を育み、保護者の学習効果も高められたい。 ★健診の機会を利用することは良いアイデアである。
		効率性	B	2.30	
		公益性 (波及度)	B	2.40	
15 名張市	木に親しむ木 製遊具導入 推進事業	有効性	A	2.50	★30クラスと支援センターという広範囲に渡っている点は評価できる。★子どもの頃から無垢の木製品にふれることは、意義深い取組である。★木製遊具は創造力を育む。★木のおもちゃの配備が、森林に対しての理解に本当に結びつくのか、因果関係の説明が弱い。★木のおもちゃに触れ遊ぶことと同時に、森の楽しさや不思議さを伝える絵本や紙芝居等も併催できると良い。 ★金額に対し幼児数が多いことは効率的といえる。★保護者だけでなく、地域住民にも県民にも次世代育成という観点では還元されていると捉えられる。
		効率性	B	2.30	
		公益性 (波及度)	B	2.40	
16 津市	「森と緑の市 民塾」開催事 業	有効性	A	2.50	★夏休みの親子対象の行事は有効である。★親子の感想や参加の動機などを知りたい。★何らかの体験をさせることは興味をかきたてる。 ★体験内容と人数のバランスは良いと考える。
		効率性	B	2.20	
		公益性 (波及度)	B	2.10	
17 伊賀市	地域の森と緑 のつながり支 援事業	有効性	A	2.60	★地元住民団体主体の取組を支援するのは良い。★地域主導は継続性を産む。森林についてどのようなことを伝えようとしているのか。★このような活動が県内でいくつも始まるよう、モデルとしてPRされたい。 ★地域コミュニティの活用は素晴らしい。★地域コミュニティの中での事業だから効率的との表記ではわかりづらい。もう少し具体的に示されたい。
		効率性	B	2.40	
		公益性 (波及度)	B	2.20	
18 熊野市	緑化大会開 催事業	有効性	B	2.30	★熊野古道沿いでもあるので、景観保持とあわせて、有意義である。★人と森との関わりなどについても考えられる行事だと意義深いものとなる。 ★ボランティアに依ること、経費を抑えたいに効果を高められたと考える。★人と森との関わりなどについても考えられる行事だと意義深いものとなる。
		効率性	A	2.60	
		公益性 (波及度)	B	2.30	
19 名張市	木に親しむ図 書購入事業	有効性	B	2.00	★実地体験が木や森への興味を持つきっかけとなるので、学校で森林環境教育や木育で活用できるように手立てがいる。★このコーナーを作るなら、本棚に県産材を使ってほしい。★森林に関する図書をどの程度の市民が借りたのか、またモチベーションを高めるための広報ができたのか。 ★単に本を置くだけでは難しいと考える。★専用コーナーに対する市民の意見はどういう内容が多かったのか。多くの人とはとどれくらいか。アンケートなど実施されてはどうか。
		効率性	B	2.20	
		公益性 (波及度)	B	2.30	
20 津市	美里水源の森 整備事業	有効性	B	2.20	★多様な主体の協働によって展開され、地域への影響力が高い事業だと捉えられる。水源の森での学びが日常に活かされるような工夫を今後されたい。 ★測量設計費用が大半なので、評価は困難だった。★水源の森整備の測量等設計とイベントは分けて記載されたい。
		効率性	B	2.10	
		公益性 (波及度)	B	2.10	

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策3 森を育む人づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
21 亀山市	かめやまの木づ かい支援事業	有効性	B	2.30	★子どものころから地域の木製品にふれることは意義深い。★単に製品の納入のみでなく森林環境教育も併せて実施されたい。★どのような評価を得たのか具体的に記述してあると良い。
		効率性	B	2.20	★地元密着で多様な事業者の参加が得られたことは素晴らしい。★製品の質が、写真からではわかりにくい。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★施設数も多く波及度はあると考える。★園児や保護者にどのような伝える活動をしているのか、また、その反応についても記述されると更に良い。★備品へのロゴマークによる周知もされたい。
22 いなべ市	間伐材等テク ニカルボランティア 部活用事業	有効性	A	2.50	★自分たちの活動が、三重県の森林保全・管理・利用等につながっていることが学習でき、中学生が地域に発信できるよう学校全体、地域全体の取組なると良い。★素晴らしい活動である。★木工の機械導入が森林・木材の関心を高め、ものづくりへの興味を引き出すことにつながる。
		効率性	B	2.30	★特色ある部活動としては価値が高いが、1中学校の1部活動への補助としては一考の余地がある。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★販売で得た資金の用途は教育的で評価できる。★途上国支援は県民への波及ではないが、事業の意義は認められる。★素晴らしい活動であるが、成果を三重の森林保全に活用できるような仕組みができると良い。地元の小学生との協働による森林環境学習の実施や地域の人々と一緒に学べる機会の創出などを期待する。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策4 木の薫る空間づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 津市	公共建築物等の県産材による木造・木質化	有効性	B	2.00	★安らぎの効果は高いと思う。★斎場という場所で「木の薫る空間」が心地よいということになるか疑問に思う。市民の憩いが触れ合う机という言葉に違和感を感じる。
		効率性	B	1.90	★利用材積に対し高額に感じる。★当該施設は新築だが、今後税事業があるという無理に什器類を更新する必要はない。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★場所柄、森林に対する理解を促すような働きかけはあまり強くできず、波及効果は乏しいのではないかと感じる。★利用者は多いが、波及度につながるか疑問を感じる。★県産材の使用にかかわらず利用者は存在する。利用者に事業をどうPRするのが課題。
2 松阪市	都市公園整備事業	有効性	B	2.00	★公共施設の木材利用は評価できる。★市産材を利用しただけでは、森林保全への関心が高まると思えない。
		効率性	B	2.00	★金額が適切かどうかは疑問を感じる。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★屋外施設は維持管理が重要なので、しっかりなされることを望む。★市民の感想や、ふれあいの機会ができることでのような影響があったのか知りたい。
3 松阪市	森林公園管理運営事業	有効性	B	1.90	★公共施設の木材利用は評価できる。★木材活用や森づくりへの理解がどのように深まったのか、アンケートを実施してはどうか。★市産材を利用しただけでは、森林保全への関心が高まると思えない。
		効率性	B	1.90	★金額が適切かどうかは疑問を感じる。★妥当な金額かどうか疑問。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★屋外施設は維持管理が重要なので、しっかりなされることを望む。★来場者へのPR方法が不明。また、このことにより市産材を使うことの良さは波及したのか知りたい。
4 伊勢市	公園整備事業	有効性	B	1.90	★公共施設の木材利用は評価できる。★利用されていることが有効性なのか。であれば、利用した人に森林保全や管理への理解を得ることができたのか。★市産材を利用しただけでは、森林保全への関心が高まると思えない。
		効率性	B	2.10	★金額が適切かどうかは疑問を感じる。★妥当な金額かどうか疑問。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★屋外施設は維持管理が重要なので、しっかりなされることを望む。★12,000人の利用者に対し、事業のPRや説明が必要であり、またその効果を検証する必要がある。
5 紀宝町	公共施設木造化事業	有効性	A	2.50	★公共施設の木材利用は評価できる。★県産材で作られたという価値を、利用者や町民に広く伝える必要がある。★建物全体の木質化は意義がある。
		効率性	B	2.30	★落札率が高い。★税の利用が1/2弱なので、地元の努力が認められる。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★市民への周知には「改築」という行政用語ではなく、「建て替え」と言い換えるなど、わかりやすく広報してほしい。★建物を活用した森林環境教育を実施してほしい。★数値以外の評価指標、たとえば利用者の声や反応などを発信して、県産材活用のモデルとしてPRしてほしい。
6 松阪市	保育園管理運営事業	有効性	B	2.40	★子どものころから地域の木製品に触れることは意義深い。★子どもたちに木材に触れる機会が増えるのはよい。合わせて森林環境教育も行ってほしい。★机・椅子の成り立ちなど、園児にわかりやすく教える森林環境教育も実施してほしい。
		効率性	B	2.20	★写真で見ると、製品のデザインや質は高いと思われる。★地元業者からの納入は素晴らしい。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★積極的に広げていく必要がある。★園児に森の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★木製品取扱業者を掘り出し広げる活動に結び付けたい。★児童を通じて保護者にも良い影響が及ぶような取組に期待したい。★子どもたちや保護者へのアンケートを実施してほしい。木製品の価値や取組が他へ波及するための発信を行ってほしい。
7 鳥羽市	鳥羽市農水産物直売所木の薫る空間づくり事業	有効性	A	2.50	★公共施設の木材利用は評価できる。★利用者へ事業目的などの理解が深まるためのツールがあるとよい。★薪ストーブの設置はよい。
		効率性	B	1.90	★内装にも木材を積極的に利用してほしい。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★来所者に森の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★内装にも木材を積極的に利用してほしい。★継続的に森に関するイベントを開催するなど、積極的な活用とPRに努めてほしい。★他へも波及するように、PRしてほしい。★開店後に税事業PRの文字が見られない。
8 南伊勢町	統合保育所建設事業(備品購入)	有効性	A	2.80	★子どものころから地域の木製品に触れることは意義深い。★幼児の保育の場所、暮らしの場所として最適。★木造の園舎内に木製の備品を配置することは、は幼少の子どもたちにはよい環境だと思う。
		効率性	B	2.00	★もう少し具体的な記述がほしい。写真で見ると、製品のデザインや質は高いと思われる。★具体的な記述が求められる。
		公益性 (波及度)	B	2.00	★木育による波及効果に期待したい。★木製品取扱業者を掘り出し広げる活動に結び付けたい。★児童を通じて保護者にも良い影響が及ぶような取組に期待したい。★こういった取組が広がるようなPRに取り組んでほしい。★税活用事業として積極的なPRを行ってほしい。
9 紀北町	紀勢自動車道地域振興施設備品整備事業	有効性	A	2.50	★公共施設の木材利用は評価できる。★ヒノキの香りが心地よい施設である。★どのような効果があったのか記述があるとよい。★木の利用という点では有意義だが、税を活用する必然性があるのか疑問である。
		効率性	A	2.50	★実物を見たが、製品の質は高かった。★地元の木材と人材が活用されている。地域産材が地域の人々によって導入されていることが素晴らしい。
		公益性 (波及度)	A	2.50	★来所者に森の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★毎日にぎわっており、波及度は高そうである。★積極的にPRしてほしい。★維持管理の経費負担が課題と思う。★積極的にPRしてほしい。★どこかに看板を設置してPRしてほしい。
10 御浜町	学校施設木質化事業	有効性	A	2.50	★学校備品の木質化は評価できる。導入と併せて森林環境教育を実施してほしい。★受益者の声や感想が得られており、事業効果が理解しやすい。★木の利用という点では有意義だが、税を活用する必然性があるのか疑問である。
		効率性	B	2.30	★もう少し具体的な記述がほしい。★町内業者の活用は素晴らしい。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★児童に森の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★生徒数も多く波及度はあると考える。★児童を通じて保護者にも良い影響が及ぶような取組に期待したい。★年次計画を立てて進めていく必要がある。★児童数だけでなく、児童の感想や評価を把握してほしい。また、取組が広がるPRに努めてほしい。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表
5. 対策4 木の薫る空間づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
11 津市	木材利用促進対策事業	有効性	B	2.30	★住宅建築促進と木材利用促進の二重の意義がある。★他の予算でも住宅への支援との棲み分けはなされているのか。また、個人資産形成に税を投入することの是非は議論されたのか。★市町によって助成額が異なるように思われるが、そのあたりは県民として気になる。★モデルハウスとして活用するなど事業理解意を進める工夫が必要。★他の事業を検討するべき。
		効率性	B	2.10	★他の予算でも住宅への支援が行われているが、すみわけはなされているのか。また、個人資産形成に税を投入することの是非は議論されたのか。★具体的記述に乏しい。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★利用者の口コミによる情報発信に期待したい。★他の予算でも住宅への支援が行われているが、すみわけはなされているのか。また、個人資産形成に税を投入することの是非は議論されたのか。★申請数が4戸ということをとどのように評価してよいか不明。★ニーズ把握方法が不明。また、公益性の担保や評価方法の工夫が必要。
12 熊野市	木造住宅建設促進対策事業	有効性	B	2.40	★住宅建築促進と木材利用促進の二重の意義がある。★モデルハウスとして利用することが条件になっており、公益性が高いと考える。★補助を地域商品券にし、経済的波及効果が期待できる取組がユニークである。★モデルハウスにするという条件が理解しやすい。★他の事業を検討するべき。
		効率性	B	2.40	★モデルハウスとして利用することが条件になっており、公益性が高いと考える。★モデルハウスにするというアイデアもよい。★木材利用を戦略的に考えた素晴らしい取組。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★利用者の口コミによる情報発信に期待したい。★モデルハウスとして利用することが条件になっており、公益性が高いと考える。★モデルハウスとしたことに工夫がみられる。★受益者の評価、公益性がどの程度あるのか把握したい。
13 津市	木質バイオマス利用促進事業	有効性	A	2.60	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。★エネルギー利用と森林づくりという2つの目的を持っている。★税活用だけでなく、事業継続のために事業主体が自主財源を確保する仕組みを検討してほしい。★山から降ろすまでの労力に対してさらなる助成はできないか。
		効率性	B	2.40	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。★モデル事業として公益性はあると思う。★バイオマスエネルギーがどの程度利用されているか不明。
14 名張市	木質バイオマス等利用促進事業	有効性	A	2.50	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。★継続することでさらに有効性が高まる。★税活用だけでなく、事業継続のために事業主体が自主財源を確保する仕組みを検討してほしい。★山から降ろすまでの労力に対してさらなる助成はできないか。
		効率性	B	2.30	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。★今回の成果を今後どのように生かしていくのか。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★バイオマス用木材の集荷が課題となっており、市内でも距離のある地域からの運材の助成にはある程度理解できる。★具体的にどのような受益があったのか。★搬出補助に税が活用されるのはよいと思う。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

5. 対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 朝日町	公共施設の緑化	有効性	B	2.30	★事業としての芝生化は納得しがたい。★2年目以降に有効性を確認したい。★園児や保護者へのアンケートの実施をしてほしい。また、税事業の啓発も行ってほしい。★園児にとって有意義と考える。
		効率性	B	2.10	★他市町と比較して事業費は妥当かどうか確認する必要がある。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★事業としての芝生化は納得しがたい。★事業の広報を広く行うべきである。★波及度を高めるために、園児に緑の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★看板の設置など、税事業のPRをする必要がある。★芝生維持の仕組みをしっかりと構築すること。★芝生を活用した緑を理解する体験型教育が実施されるとよい。また、保護者や地域で維持管理ができればよい。
2 川越町	公共施設の緑化	有効性	B	2.30	★事業としての芝生化は納得しがたい。★有効性の記述が税の目的に合致していない。★園児にとって有意義と考える。
		効率性	B	2.20	★事業としての芝生化は納得しがたい。★他市町と比較して事業費は妥当かどうか確認する必要がある。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★事業としての芝生化は納得しがたい。★波及度を高めるために、園児に緑の役割などを伝える教育も併せて行ってほしい。★芝生維持の仕組みをしっかりと構築すること。★利用価値がどのように高まったか、アンケートを実施してはどうか。
3 度会町	宮リバー度会パーク第2子ビッコ広場芝張事業	有効性	B	2.20	★毎日使用される場所ではないので、整備や維持管理に一層の配慮を望む。★芝生を活用した緑の学習を実施してほしい。また、芝生化の価値を伝えるツールが必要。★地球温暖化対策としては有意義である。
		効率性	B	2.20	★事業としての芝生化は納得しがたい。
		公益性 (波及度)	B	2.20	★事業としての芝生化は納得しがたい。★波及度を高めるために、公園利用者に緑の役割などを伝える啓発も併せて行ってほしい。★芝生を活用した学習を実施してほしい。
4 名張市	森林公園等環境活用整備事業	有効性	A	2.50	★住民主体の取組への支援は評価できる。★住民主体の取組を支援することはよいと思う。★毎日使用される場所ではないので、整備や維持管理に一層の配慮を望む。★地域を巻き込む取組となっている。★住民参加による管理保全、整備の仕組は素晴らしい。★地域住民が整備、維持管理していくという姿勢は評価できる。
		効率性	B	2.20	★落札率が高いために効率性が高いとは言い難い。
		公益性 (波及度)	B	2.10	★事業の広報を広く行うべきである。★波及度を高めるために、公園利用者に緑の役割などを伝える啓発も併せて行ってほしい。★利用者の多い公園のため、波及度は高いと思う。★作業を通して、住民や観光客がつながり、また行政や住民の役割分担が明確である。★税活用のPRが不足している。
5 亀山市	緑あふれるまちづくり支援事業	有効性	B	2.10	★工場の緑化を税で行うべきなのか疑問が残る。★活動が企業のPRにもなり、他の企業でも実施していることを考慮すると、税事業で行う必要性がない。★補助金としたことは評価できる。★樹種選択や地域性苗など、生物多様性への配慮を進めてほしい。★企業の緑化に税を投入することに疑問を感じる。自己資金で自発的に行わなければ意識向上はないと思う。
		効率性	B	1.80	★工場敷地内の緑化は、各事業者がその責務で行うべきであり、税活用は必ずしも効率的ではない。★植樹だけでなく、森と人とのかかわりについて気づくための活動にシフトすべき。
		公益性 (波及度)	B	1.80	★植樹だけでなく、森と人とのかかわりについて気づくための活動にシフトすべき。★税事業であるPRがなければ、単なる企業の環境活動としてしかとらえられない。★緑化への意識向上という取組はユニーク。中小企業への拡大を期待する。★税活用のPRが不足している。

平成26年度 みえ森と緑の県民税 事業別評価表

6. みえ森と緑の県民税制度運営事業 評価委員会の設置・運営 等

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 みどり共生 推進課	評価委員会の 設置・運営、 普及啓発、 データ管理	有効性	B	2.20	★評価委員会は当事者であるため、この事業の評価にはなじまない。★委員の分野が幅広いことは評価できる。しかし、多忙な委員も多く日程調整等に課題がある。★広報が目的ではなく、広報をすることでどんな変化が生まれたかを知りたい。
		効率性	B	2.00	★統一フォーマットにより報告共有がしやすくなったが、書きぶりや事業の成果についての詳細の記載の無いものもあったので、今後さらに市町とのコミュニケーションを深められたい。★市町の事業は本来、市町において十分議論され、有効性、効率性、公益性の観点から評価した上で適切な事業を採択すべきものとする。数枚の資料で委員がすべての事業をチェックするのは無理がある。この委員会の体制で続けるのであれば、・積算根拠資料添付・市町担当者に直接ヒアリングを行う場を設置・現地(抽出)の直接確認する機会設置。を提案する。
		公益性 (波及度)	B	2.30	★広報活動にかなり力を入れていた点が評価できる。★報道機関等も少なく、あまり関心もたれていないように感じる。★年数を重ねる中で、評価内容が活かされ改善されていくようにPDCAサイクルによる評価マネジメントにより事業効果が高まることを期待する。

7. 賦課調査事務事業(みえ森と緑の県民税導入準備費交付金等)

県担当課 市町名	事業名	評価の 視点	評価委員会の評価		
			判定	平均点	特記事項
1 三重県 税務企画 課	賦課調査事 務事業(みえ 森と緑の県民 税導入準備 費交付金等)	有効性	B	2.30	★市町による広報が有効に行われたかどうかは確認は取れているのだろうか ★システム改修はやむを得ない ★広報は目についたが関係者以外の理解が深まっているとは言い難い。
		効率性	B	2.20	★どの程度の県民の目に触れたのでしょうか。★県税であるので県が一括して行うのは当然 ★広報は目についたが関係者以外の理解が深まっているとは言い難い。
		公益性 (波及度)	B	2.40	★なぜ、住民税の担税者ではなく、自動車税の担税者への広報のみが記載されているのだろうか。★納税者の反応や意見を今後聞けるとよいです。★全納税者に対する割合は？ ★概ねこの税に対する周知はされていると思う。個人や中零細企業にとっては金額的にわずかなのでそれほど抵抗はないようだ。★広報は目についたが関係者以外の理解が深まっているとは言い難い。